



# KUNERUASOBI



あきやま保育室 令和6年7月号

先月の展覧会では、2日間の開催で約230名の方にご来場いただきました。保育室・ケアルームの在籍家庭を筆頭に、卒園児・転園児の懐かしいお顔や子育てしている地域の方々など、たくさんの方に子ども達の作品をご覧いただくことができました。

「0歳児から5歳児までの作品をみて、各年齢の発達段階が知ることができ、我が子の近い将来が楽しみです（0歳児父）」「はじめは小さいころの自分がかいた絵を見るのがはずかしかったけど、なつかしかったです（卒園児女児）」「我が子と同じくらいの子も描いていて驚いた。さっそくクレヨンを用意し息子にも描かせてみようと思います。（1歳半地域家庭）」など、展覧会で感じたさまざまな感想もいただきました。

絵・立体・共同など子どもたちの作品はどれもエネルギーを放っており、癒し・元気・勇気・希望をもらえる展覧会となりました。みなさま、お忙しい中、どうもありがとうございました。

## ☆保育室の生活どうして？シリーズ☆

### その148. 感覚あそび

この時期になると各グループの設定活動として、小麦粉・氷・白滝・寒天・色水・石鹸などの身近な素材を使った感覚あそびが盛んになります。ツルツル・ヌルヌル・ドロドロの触感や冷たい・ぬるいの温度、色や泡の変化を、時には全身で五感に刺激を受けながら遊びます。

先日3Fのテラスで片栗粉粘土をした2歳児のあんずさんでは、0歳児から行っている小麦粉粘土とは異なる初めての感触に、たらいの中の片栗粉粘土をひたすら両手でかきまわす子、手に握った時は固まっている片栗粉を手の平を開くと指の間からトロリと落ちていくさまをじっと見ては繰り返し行う子、トロミのあるかたまりに鼻を近づけて匂いをかぐなど、声も出さずにみんな黙々と片栗粉の不思議な感触を味わいながら夢中になって遊んでいる姿が印象的で面白かったです。低年齢グループでは、感覚遊びをする際に、万が一、口に入れてしまっても安全なように食材を使うことが多いことも特徴の1つです。さまざまな感触の体験を遊びの中で行いながら、今からはシャワーの活動やプール遊びへと展開いく予定です。毎朝、プールセット等のお仕度など、保護者の方にもご協力のほど何卒よろしく願いいたします。

文責 高橋

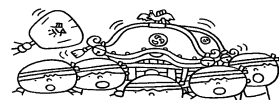


## あきやまケアルームです！！ 7月

梅雨はまだ続っていますが、少しずつ暑くなる日々が夏の訪れを感じさせてくれます。今月は、ケアルームでもシャワー・プールが始まります。お子さんもすでに「早くプール始まらないかな」と楽しみにしている様子に成長を感じています。今年がはじめてのプールの子もいるため、まずはお水に浮かぶ氷を触って遊ぶことから始めています。お水のヒヤッとした感触に最初は驚いたような表情をしますが、触っていく内に「もっと触ってみたい！」と手を動かす姿を見て、ますますプールが待ち遠しく思います。心地よい疲れを感じつつ身体をすっきりさせて暑い夏を乗り切れるよう安全に最大限の配慮をしつつ楽しんで活動していきたいと思えます。

また7月には年長さんのお泊まり保育があります。合同保育も始まり同年代の子同士でもわくわくしている様子です。保育室にお泊りするといつもととは違う行事に、楽しみな半面お父さんお母さんと離れることに不安が見え隠れしていますが、終わる頃には、また一段とお姉さんになって帰る様子が目に浮かびます。今月のよろしくお願いたします！

文責 吉澤



## ☆今月の予定☆

**12・13日(金・土) お泊り保育** 保育室・ケアルームの年長児がパパママを離れて保育室で一泊します。

**26日(金) 縁日** 出店：16：00～17：15（一般 最終受付17：00）

祖父母の方をはじめ、卒園児・ひろばの親子も是非、遊びにいらしてください。